

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	ホスピタリティ産業論	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科三年制	コース名	スポーツビジネス	開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	毎回資料をプロジェクターで投影します。参考書・参考資料等は、授業中に指示します。				
担当教員情報					
担当教員	永野和雄	実務経験の有無・職種	有・ホテル経営者		
学習目的					
高収益化の難しいホスピタリティ商品や産業の姿を体系的に理解します。自ら考え、ホスピタリティ商品を事業として構成できる思考習慣を習得することで、発想力を養うことを目的とします。					
到達目標					
①ホスピタリティ産業が現代の市場に持つ影響やスポーツとの関わりを理解します。 ②ホスピタリティ商品の持つ特殊な面を理解し商品として自ら構成する力を身につけます。 ③ホスピタリティ商品が本来持つ付加価値の高さを理解します。					
教育方法等					
授業概要	近年注目されるホスピタリティ商品や最新のトピックスを事例に討議を進めていきます。「ホスピタリティ産業の特徴」、「経営における課題」、「ホスピタリティ商品を高収益化する具体的な手法」などのテーマについて、1講義・話題提供、2演習・課題作成、のサイクルで学習を進めていきます。				
注意点	学生間および教員とのコミュニケーションを重視します。課題や実習を通じて積極的に参加することで、授業そのものを主体化してください。情報に敏感になり世の中の動向を観察することで、広い文脈からこの科目で学んだことを結びつけて考えましょう。なお、授業時間数の4分の3以上を出席しない学生は定期試験を受験することができません。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価します。		
	平常点	20%	積極的な授業参加、授業態度、授業への貢献によって評価します。		
	出席率	10%	授業への出席回数、遅刻の回数を評価に加味します（授業時間数の4分の3以上の出席が前提）。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ホスピタリティ産業の概念規定	ホスピタリティ産業の領域と概念を理解します。			
2回	経験経済・経験価値の時代背景	経験価値とそれらが生み出された時代背景について理解します。			
3回	高収益事業が革新したもの	ブティックホテルなどの事例を中心に高収益化の方策について理解します。			
4回	ポストフォーディズムの消費	現代の商品が帯びるポストフォーディズムの側面について理解し今後の商品を考えます。			
5回	SDGsとホスピタリティ産業	持続可能性を帯びたホスピタリティ商品についてエコリゾートなどの事例を中心に理解します。			
6回	新しい観光の姿	ホスピタリティ商品の歴史を包括的に見ることで観光のもたらす光と影を理解します。			
7回	ハイエンド商品の限界性	ハイエンドホスピタリティ商品が持つ限界を理解し今後を考えます。			
8回	産業化の限界と新たな商品像	ホスピタリティ商品固有の性格がもたらす産業の限界について理解します。			
9回	健康志向とウェルネス商品	ディスティネーションスパなどの事例を中心にウェルネスに資するホスピタリティを考えます。			
10回	顧客満足経営の光と影	顧客満足経営の問題点を理解し今後のあるべき姿について考えます。			
11回	ホスピタリティ商品の原価計算	ホスピタリティ産業固有の原価計算について理解し、利益管理の重要性を体感します。			
12回	知覚品質とエビデンスマネジメント	知覚品質の概念とその運用方法を理解します。			
13回	ケーススタディ1	ケーススタディを通じホスピタリティ商品を自ら考え構成できるようにします。			
14回	ケーススタディ2	ケーススタディを通じホスピタリティ商品を自ら考え構成できるようにします。			
15回	高収益ビジネスモデルの模索	シェアリングエコノミーにおけるホスピタリティ商品のあり方を考えます。			